

ふくいわじびんこうかくりにつく

ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック



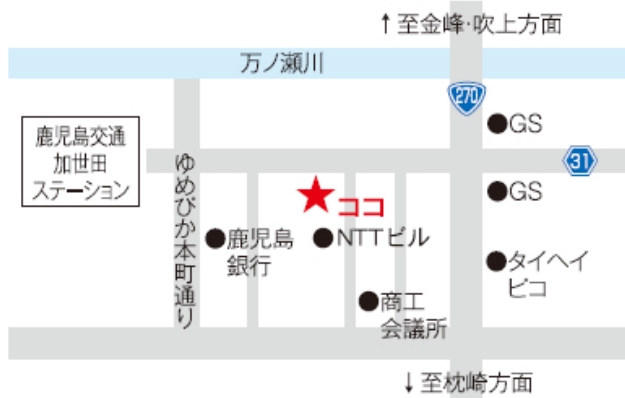
福岩 達哉 院長

Tatsuya Fukuiwa

Plofile

加世田市(現・南さつま市)で出生。県立鶴丸高校卒業、鹿児島大学医学部卒業後、平成7年、鹿児島大学医学部耳鼻咽喉科学教室へ入局
平成12年 (財)癌研究会附属病院頭頸科研修
平成16年 米国アラバマ大学バーミングハム校(UAB)免疫ワクチンセンター留学
平成19年 鹿児島大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師
平成20年 ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック開院
平成22年 医療法人エターナル設立

- 医学博士
- 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医
- 日本気管食道科学会認定専門医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 日本アレルギー学会認定専門医
- 日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医



DATA

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	／	○	○	／	／
14:00~18:00	○	○	○	／	○	☆	／	／

☆土曜午後は17:00まで受付

TEL0993-53-3387

- 住 所／南さつま市加世田本町22-5
- HP URL／<http://www.fuku-iwa-clinic.com>
- 駐 車 場／あり
- アクセス／指宿スカイライン谷山ICから車で30分
枕崎市街から車で25分
鹿児島交通線加世田ステーションから徒歩2分

このページのテーマ

のど・鼻

鹿児島のドクターに聞く 私たちのこころとからだ

メンタル&フィジカル トリートメント

Q 最近のどの調子が良くないのですが、ほかにこれといった症状がないので受診していません。気づくともう1か月以上たつかも…。一度診てもらった方がいい？ (54歳・男性)

A 「のど」と呼ばれる部分は、解剖学的にはいくつかの部位に分けられます。鼻と咽頭部のつなぎ目に当たる上咽頭(のどの上の方)と表現されることが多いから、口腔(舌や歯ぐきも含む)、中咽頭(口蓋扁桃・「のどちんこ」と言われる口蓋垂・舌の付け根の筋肉である舌根部)、喉頭(声を出す器官で空気の通り道、声帯を含む)、



電子内視鏡(分光画像処理FICE搭載)を使った鼻・のどの検査風景。



喉頭腫瘍(乳頭腫)の画像、通常光上とFICE上。

による体質改善があります。手術は、鼻粘膜を炭酸ガスレーザー、あるいは当院でも使用しているアルゴンプラズマ凝固装置などで焼灼する日帰り手術となります。治療効果は個人差がありますが、半年から最長2年ほど持続するといわれています。ただしスギ花粉症では花粉飛散時期を避けて手術する必要があります。

Q のどの不調には、ほかにどんな病気が隠れている場合がありますか？ (45歳・女性)

A 消化器領域で近年問題となっている逆流性食道炎(GERD)により、胃酸が食道へ逆流しさらに咽頭まで到達すると、のどの違和感が生じます。これを咽喉頭酸逆流症(LPRD)といいます。LPRDでは喉頭肉芽腫という腫瘍(しこり)が発生して違和感がひどくなることがあ

下咽頭(喉頭の裏面にある食物の通り道、食道と咽頭部をつなぐ部分)、頭部食道……この他にも咽頭部を取り囲む筋肉や血管など、複数の器官が複雑に組み合わさることで「のど」を形成しています。まずは問診で「どんな違和感があるか」「いつからか」「疼痛や出血の有無」などを詳しくお聞きしてから、どの部位に異常があるかを推測しなければいけません。違和感が1週間以内であれば、急性扁桃炎などの炎症性疾患が第一に考えられます。しかし症状が2週間以上続いているのであれば、ほかの疾患や腫瘍性病変の存在などを疑う必要があります。

Q 検査ではどんなことをするのでしょうか？

A のど(喉頭・下咽頭)は口を開けただけでは見えない臓器なので、間接喉頭鏡という鏡の反射を用いた検査を行います。さらに詳しく調べる場合、以前はファイバースコープと呼ばれる光ファイバーを束ねた機器を鼻からのどに挿入して観察していましたが、1990年代にCCD内蔵の電子内視鏡(ビデオスコープ)が開発されて以来、世代交代が進んでいます。これなら高画質なので声帯などの小さな器官も詳しく調べられるうえ、静止画や動画として記録・保存できます。



全身用マルチスライスCTの検査風景。遠隔画像診断センターと連携して全身を精査

り注意が必要です。また明らかな疾患がなくても違和感を訴える場合、咽喉頭異常感症の可能性もあります。これは寝不足やストレス、うつなど心因性の要素が自律神経に影響して起こる病気です。しかし異常感症の診断は他に原因がないか検査を行った後にすべきであり、まずは腫瘍などの存在を見逃さないようにしなければなりません。

ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック

福岩達哉院長はこれまで、鹿児島大学附属病院の耳鼻咽喉科において、頭頸部外科や気管食道外科の治療(舌がん・咽喉頭がん・唾液腺がん・甲状腺がん)を専門としてきた。腫瘍切除と再建手術をどちらも手がける中で痛感したのは「もっと早くがんを発見できていれば」「もっと早期に治療を開始していたら」ということだった。一人でも多くの患者さんを救いたいとの思いから、平成20年にはクリニックを開院。頭頸部がんの早期診断を目標に掲げている。

患者さんは0歳から100歳代までと幅広く、プライバシーとホスピタリティを第一に考えた診察室は、落ち着いた雰囲気個室となっている。耳・鼻・のど・めまいなどの疾患を主として、かぜの症状全般で診療。それぞれについて、内視鏡画像や電子カルテなどを用いて丁寧に説明してくれるのはもちろんのこと、必要な検査や治療法、気になることなど何でも気軽に相談に乗ってくれるのがうれしい。

また症状をうまく伝えることのできない小さな子どもたちは、大人とは違う病態を見せる場合も多いが、同クリニックでは小児特有の耳鼻咽喉科疾患も専門的に診療。繰り返しがちな子どもの中耳炎などの治療にも力を入れている。繰り返しがちな子どもの中耳炎などの治療にも力を入れており、レーザー鼓膜切開装置OTOLAMを導入している。



Q 一年を通して鼻水が出ます。鼻からのどにかけてなんとか違和感があり、そのせいか仕事に集中できないこともあり、困っています。(35歳・女性)

A 鼻疾患によって生産された鼻汁が、のどに流れ込むことで違和感を生じる例は非常に多く、代表的な疾患としては慢性副鼻腔炎(蓄膿症)による後鼻漏(こうびろう)が挙げられ

最近開発された分光内視鏡(FICE)は、撮影画像の光波長をデジタル処理して毛細血管を強調した画像を合成する技術です。ガンが発生した部位には微小血管が増えるため、FICEで粘膜表面の微小血管をより詳細に観察することで、ガンの早期発見を目指すことが可能となります。耳鼻咽喉科領域では2008年にFICEを用いた電子内視鏡システムが登場し、当院でもFICEを導入しています。

また頸部の触診を行いリンパ節の腫れや甲状腺腫大の有無を調べることもあります。触診で病変が疑われるときには頸部超音波診断装置(エコー)による検査を行います。特に甲状腺腫瘍の診断では頸部エコーの診断精度が高く重要な検査です。その他、頸部CTスキャンによる画像診断を行う場合もあります。

まず。また最近では、アレルギー性鼻炎が原因となって後鼻漏およびのどの違和感に悩む人が増えています。これはハウスダストアレルギーやスギ花粉症に代表されるアレルギー性鼻炎が近年増加傾向にあるためだと考えられます。そのほかの要因としては、上咽頭にあるリンパ組織が炎症を起こす上咽頭炎があります。

いずれも鼻の診察をしっかりと行ったら上で、副鼻腔炎が疑われる場合には単純レントゲンや副鼻腔CTによる画像検査を、上咽頭疾患の有無に関しては電子内視鏡による観察を、アレルギー性鼻炎の検査には鼻汁好酸球検査やアレルギーの原因(アレルギー)を調べる検査(血液検査や皮膚テスト)などを実施します。

Q のどの違和感がスギ花粉症などのアレルギー性鼻炎によるものだとすると、どのような治療がありますか？

A 今答えたとように、アレルギー性鼻炎はまず原因となるアレルギーを特定することが大切で、これを防御する環境対策が必要です。例えば、スギ花粉症では花粉飛散時期にマスクやゴーグルを使用するということです。治療には薬物療法、手術療法、免疫療法(少量のアレルギー注射